第 76 回クリエイティブサロン （オンライン開催）

『若者の深い学び？』

主　催　:学術研究団体　日本創造学会

開催日時　:**2022 年 12 月 3 日（土）** 13:30-16:30（予定）

開催方法:オンライン（Zoom）　参加費　:無　料

申込締め切り:2022 年 12 月 2 日（金）jcs-info@japancreativity.jp へメール

＜参加のお誘い＞

「主体的・対話的で深い学び」を掲げた新学習指導要領に続き、「令和の日本型学校」答申では「個別最適な学び」と「協働的な学び」が強調され、内閣府は文科省と経産省とも連携して理念実現に向けて、本年 4 月に教育人材育成についての 3 政策 46 施策をまとめた。この中で探究・STEAM 教育は第 2 の柱として、産官学民の力を結集したエコシステム構築と推進が謳われ、次の指導要領に向けた準備が始まっている。

創造学会の主催する今回のサロンでは、SSH プログラム通して**学校全体**で正答のない問題を主体的・協働的に解決する**探究**力育成に当たる**高校先生**に加えて、科学者養成プログラムによって主体的に**探求**に挑戦する高校生**個人**を支援する**大学教授**、高校時代を振り返り高校や大学と連携した支援を目指す**ベンチャー代表**を加えて、**高校生の学び支援**の仕組について討論して参加者の皆さんとともに考えます。会員でなくても自由に参加できますので、周りの仲間も誘ってご参加を下さい。

＜スケジュール＞ 13:00　Zoom 接続

13:25-13:30　ご挨拶　小粥　幹夫（ひとつなぎの会　創造学会監事）

13:30-15:00　**第 1 部　講演**（質疑応答含各 30 分 x 3 名）演題は仮

「解のない問いに挑戦する高校生」　政浦　嘉恵（石川県立小松高校　SSH　企画推進室長）

生徒の意欲、探究、課題発見、評価、指導ポイント、創造力、進路選択(あり方生き方)

https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/komafh/SSH

「未来の卵を育てる大学」　安藤　晃（東北大学工学部電気情報物理工学科教授、未来の卵）

オープンキャンパス、科学者の卵養成講座、AO 入試、大学改革

https://mirai-eggs.org/

「社会に開かれた学校支援」　藤村琢己（一般社団法人 Fora　代表理事）

思考力育成、探究支援、進路選択、EdTech 活用、オンライン、ワークショップ

https://fora.or.jp/

休憩(10 分)

15:10-16:30　第 2 部　対話・協働セッション

ブレークアウト Gr 討論（20 分）

A：小松 Gr　　B：仙台 Gr　C：東京 Gr　（D：浜松 Gr）

協働成果発表（10 分）

振り返り（10 分）

講演1　政浦 嘉恵　氏　石川県立小松高校 SSH 企画推進室長

題目 「解のない問いに挑戦する高校生」

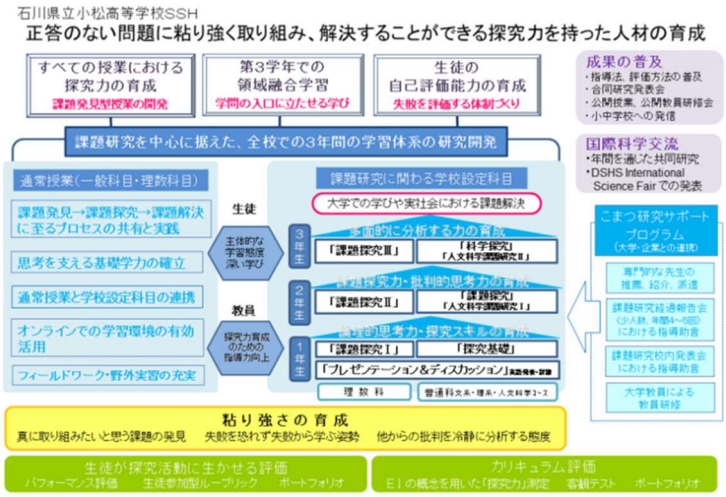
学校概要

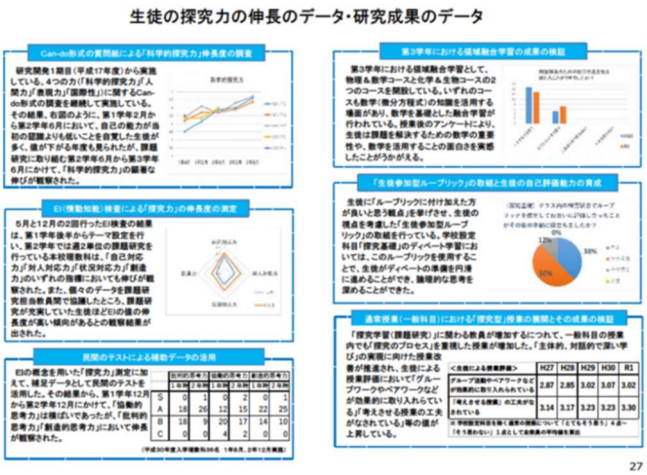
明治 32 年(1899)創立の石川県第四中学校を前身とし、昭和 23 年(1948)に石川県立小松高等学校となり、創立 123 年目を迎える。卒業生は 3 万 5 千名を数え、国内外のあらゆる分野で多彩に活躍している。各学年普通科 7 クラス・理数科 1 クラス、合計 960 名の生徒が在籍、「自主自律」「文武両道」を校是とし、生徒会活動や部活動も活発で、全国大会に出場を果たしている。伝統ある学校行事、特色ある教育活動を通して、豊かな教養と人間性を培い、自己を磨き視野を広める機会を提供している。

講演概要

平成 18 年度文部科学省「スーパーサイエンスハイスクール」(SSH 事業)の指定を受け、理数科や普通科理系を中心に科学技術系人材の育成を目指して「探究力・人間力・発表力・国際性」育成の研究開発に取り組み、平成 24 年度からは「人文科学コース」クラスを設け、探究力の評価法を開発。令和 3 年度からの SSH 4 期 2 年目では、成果を全クラスに普及し、課題研究等における探究活動を軸として、正答のない問題に粘り強く取り組み、解決することができる探究力を育て、世界で活躍する人材を育成することを目指している。

キーワード：探究、課題発見、評価、指導、創造力、協働、生徒意欲、進路選択(あり方生き方)
生徒の意欲、探究、課題発見、評価、指導ポイント、創造力、進路選択(あり方生き方)





「未来の卵を育てる大学」

安藤　晃（東北大学工学部電気情報物理工学科教授、未来の卵）

https://mirai-eggs.org/

科学者の卵　東北大学

みらい型　科学者の卵養成講座 | TOP (mirai-eggs.org)

科学に興味がある高校生を支援
領域横断的発想と試行錯誤で探究する「科学の眼」を育成
理系全学部の研究室の集中講座で探求する力を育成
国際的に活躍する次世代の傑出した科学技術人材を育成

＜科学者の卵　発展経過＞
平成21年度　JST　高校生育成プロジェクト
平成24年度　次世代型
平成25年度　循環型
平成26年度　JST「GSC事業」(S)、飛翔型
平成30年度　JST「GSC事業」、探求型
領域横断的な発想力と試行錯誤の中で探求
令和3年11月「三菱みらい育成財団」支援、みらい型
オンライン等DX技術活用、広域展開、
異能な高校生発掘と育成。

科学を見る眼と物事の本質を考える力を養う４コース。50名（自己・学校推薦）、レポートや面接
土・日曜日や学校の休校期間　参加無料　研究重点コース　交通費補助　大学教員や大学院生・学代生が指導
研究基礎コース　自己推薦、学校推薦含む全受講生が参加　**毎月1回の特別講義**
好奇心全開！　研究力と科学力を身に付ける！　理系全学部から
最先端の研究に触れ、見識を深め、複合的な視点に立って考察、探求の「科学の眼」
レポートを作成・提出、考えを短時間でまとめ、表現する力
研究発展コース
自己推薦受講生から選抜　「研究基礎コース」で優れた能力と高い研究意欲を示した受講生が対象
最先端の研究に触れながら、実践的に学ぶ　研究室に所属し、研究への姿勢や取り組み方などを習得　体験
研究推進コース　学校推薦・トライアウト生が対象　高校主体の取り組みを支援
メンターや大学教員の支援のもと、より高い研究レベルへ　進め方やまとめ方、発表についてアドバイス
研究重点コース（翌年度実施）　2年目継続者　研究発展コース・研究推進コースより選抜
挑戦することによって見えてくる　科学者への道　研究内容の充実、英語で学会発表

「社会に開かれた学校支援」

藤村琢己（一般社団法人 Fora 代表理事）

https://fora.or.jp/

fora
場づくりで主体性を引き出す

ご挨拶 | 一般社団法人Fora

学び続ける
意欲と能力を高める

一般社団法人Foraは、
変化の激しいこれからの時代を生きる
生徒たちの人生を見据え、
キャリア教育や探究学習を軸に
学校教育へ貢献していきます。

探究支援パッケージ

生徒の「**進路に繋げる探究**」の実現を目指し
生徒の「**問い**」を引き出し「**興味関心**」を伸ばし
探究を「**学問や社会との接続**」を目指していく
探究をバックアップするサービス

①年間を通して使える教材　ワークブック
②生徒一人一人に探究のアドバイス
③学校全体で共通認識

ご挨拶 | 一般社団法人Fora

一般社団法人Foraと株式会社Z会ソリューションズ、経済産業省EdTech導入補助金2021に採択決定 | 一般社団法人Foraのプレスリリース (prtimes.jp)

Fora、「総合的な探究の時間」で実施可能な「探究スキルUPワークショップ」を本格運用開始 | 一般社団法人Foraのプレスリリース (prtimes.jp)